

令和5年第1回定例会3月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会します。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、会議については、原則マスクを着用し、換気等の措置を実施の上行いますので、ご理解とご協力をお願いします。
風邪症状（熱、咳、くしゃみ、鼻水等）のある方は、傍聴をご遠慮願います。

発 言 順 位

3月2日（木）

(1)	三 好	宏	議員	(自民党 真誠会)	…………… P 2
(2)	梅 田	宏 希	〃	(公 明 党)	…………… P 3
(3)	林	丸 美	〃	(明石かがやきネット)	…………… P 4
(4)	佐々木	敏	〃	(公 明 党)	…………… P 5
(5)	吉 田	秀 夫	〃	(明石かがやきネット)	…………… P 6
(6)	灰 野	修 平	〃	(自民党 真誠会)	…………… P 7
(7)	楠 本	美 紀	〃	(日 本 共 産 党)	…………… P 8
(8)	森	勝 子	〃	(森 と 泉 の 会)	…………… P 1 0

3月3日（金）

(9)	出 雲	晶 三	議員	(未来明石大路)	…………… P 1 1
(10)	家根谷	敦 子	〃	(ス マ イ ル 会)	…………… P 1 5
(11)	宮 坂	祐 太	〃	(フォーラム明石)	…………… P 1 6
(12)	丸 谷	聡 子	〃	(かけはしSDGs)	…………… P 1 7
(13)	寺 井	吉 広	〃	(リ ー ベ の 会)	…………… P 1 9
(14)	国 出	拓 志	〃	(公 明 党)	…………… P 2 0
(15)	竹 内	きよ子	〃	(明石かがやきネット)	…………… P 2 2
(16)	穂 原	成 人	〃	(自民党 真誠会)	…………… P 2 3

3月6日（月）

(17)	松 井	久美子	議員	(公 明 党)	…………… P 2 4
(18)	井 藤	圭 順	〃	(自民党 真誠会)	…………… P 2 6
(19)	尾 倉	あき子	〃	(公 明 党)	…………… P 2 8
(20)	千 住	啓 介	〃	(自民党 真誠会)	…………… P 2 9
(21)	飯 田	伸 子	〃	(公 明 党)	…………… P 3 0
(22)	辻 本	達 也	〃	(日 本 共 産 党)	…………… P 3 1
(23)	北 川	貴 則	〃	(森 と 泉 の 会)	…………… P 3 2

※ 順位については予定です。

令和5年第1回定例会3月議会発言通告一覧表

(代表質問)

発言順位	1	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 令和5年度当初予算について</p> <p>(1) 当初予算の考え方について</p> <p>(2) 市債残高が増える傾向にあるが、その認識は。</p> <p>(3) 将来の財政見通しについて</p> <p>2 令和5年度実施予定の主な取組について</p> <p>(1) 高校生世代への児童手当の支給について</p> <p>(2) 工場立地法地域準則条例の一部改正について</p> <p>(3) 17号池魚住みんな公園の開設について</p>		

(代表質問)

発言順位	2	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>1 令和5年度当初予算とその補足について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 学校給食支援事業について(2) 交通政策事業とJR大久保駅の安全対策について(3) JT跡地等活用事業と大久保地区整備について <p>2 令和5年度施政方針の真意について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 冒頭の発言について(2) 前半の「今後も引き続き云々」について(3) 「これからも留まることなく」について(4) 「残された任期」の認識について		

(代表質問)

発言順位	3	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 西明石地区活性化に向けた取組について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 西明石の魅力あるまちづくりについて(2) 西明石の課題解決について(3) 西明石駅北側エリアについて(4) サンライフ明石のリニューアルについて <p>2 子どもの発達、教育への支援について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 5歳児発達支援の実施について(2) 学校における子どもへの支援について		

発言順位	4	議員名	佐々木 敏 (公明党)
発言事項	<p>1 明石市立市民病院について</p> <p>(1) 明石市立市民病院のコロナ対応の評価について (要旨) 同病院は、コロナ対応において多大な貢献をしていただいた。 市として、同病院のコロナ対応についての評価をお尋ねしたい。</p> <p>(2) 今後の明石市立市民病院の運営形態について (要旨) 各地で、病院の統合・再編が進んでいる。市民から、今後の同病院の運営形態について御心配の声がある。市としてどうお考えか、お尋ねしたい。</p> <p>2 電子回覧板について</p> <p>(1) 現在の回覧板の諸課題について (要旨) 回覧板制度の諸課題についてお尋ねしたい。</p> <p>(2) 電子回覧板の普及促進を。 (要旨) 新聞報道で、東播磨県民局が電子回覧板の普及促進をされているとあった。本市においても、将来を見据えて電子回覧板の普及を促進するべきであると思うがどうか。</p>		

発言順位	5	議員名	吉田 秀夫 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 5類に引き下げられた場合の医療体制の確保について (要旨) 現在、発熱した患者は、発熱外来や指定医療機関などを探して受診することになっている。感染症法上の位置づけが5類になれば季節性インフルエンザと同様に、かかりつけ医や、どの医療機関でも診てもらえることになる。本当にどの医療機関でも新型コロナ感染者を診てくれるのか。</p> <p>2 JR魚住駅西側にある山の神第二踏切の安全対策について</p> <p>(1) 危険性の認識について (要旨) 山の神第二踏切は幅員が狭く、歩車分離もされていないため、歩行者、自転車、バイク、車がふくそうし、危険な状態であるが、市の認識を問う。</p> <p>(2) 拡幅工事の必要性について (要旨) 歩車分離を含め、拡幅による安全対策が早急に必要と考えるが、市の認識を問う。</p> <p>3 不登校の防止に関する取組について</p> <p>(1) 不登校児童生徒の実態をどのように捉えているか。 (要旨) 不登校児童生徒の増加要因の分析と対応を問う。</p> <p>(2) 不登校傾向が見られた場合の対応は。 (要旨) 不登校の定義を踏まえ、予兆の把握をどのように行っているか。</p> <p>(3) 不登校の原因把握と改善方法は。 (要旨) 不登校には多くの理由があると思われるが、原因別の対処方法はどのようになっているか。</p> <p>(4) 不登校児童生徒の進路について (要旨) 社会的自立に向けた進路の相談や指導はどのように行っているか。不登校生徒数に対する進路未定生徒数の実態を問う。</p> <p>4 市内中学校臨時講師のわいせつ行為による逮捕事案について</p> <p>(1) 教育委員会の受け止めについて (要旨) 子どもたちを守り育てる立場にある教員が起こした事案について、教育委員会としてどのように受け止めているか。</p> <p>(2) 再発防止について (要旨) 再発防止に向けてどのように取り組むのか。</p> <p>(3) 生徒・保護者のケアについて (要旨) 生徒・保護者のケアにどのように取り組むのか。</p>		

発言順位	6	議員名	灰野 修平 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 大久保駅周辺の市有地利活用計画について</p> <p>(1) 令和4年度予算計上のJ T跡地等活用事業の委託料について (要旨) 財源である先導的官民連携支援事業費補助金の活用状況について認識を問う。</p> <p>(2) 令和5年度予算計上のJ T跡地等活用事業の委託料について (要旨) 大久保駅周辺市有地利活用調査の実施や大久保駅前複合施設整備計画の策定などに加え、これらの市民への周知もされていない段階で駅前複合施設の基本設計費を予算計上した認識について問う。</p> <p>(3) 市民参画や市民との合意形成について (要旨) 市長の言う「市民目線」や市民一人ひとりの声に耳を傾けるとは何か、市民の意見は聞いたのか問う。</p> <p>2 J T跡地北側に面する帯状の土地の買い取りについて</p> <p>(1) J T跡地北側に面する帯状の土地の買い取りについて (要旨) 土地所有者からの買い取りに係る登記が完了した途端、同者との調停を不成立に終わらせたことについて、市長の認識を問う。</p>		

発言順位	7	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>1 こどもを核としたまちにふさわしい、子どもを中心にした保育環境を</p> <p>(1) 子どもの心身の発達を保障する保育環境を。 (要旨) 本市は待機児童解消のため、この間、大規模保育所、園庭のない保育所、高架下の保育所等、多くの保育所を設置してきた。今後は、量から質への転換が必要ではないかと考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 公立保育所の存続を。 (要旨) 本市には、公立保育所が10か所、分園が1か所あるが、市は公立保育所の果たしてきた役割をどう考えているのか。また、公立保育所の将来をどう考えているのか。公立施設として、その地域の標準的な保育を実施し、その地域の保育の質を一定以上に保つのも市の責任だと考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>(3) 保育士の配置基準の見直しを。 (要旨) 日本は、先進国の中でも最低レベルの配置基準と言われているが、本市の配置基準はどうなっているのか。横浜市のように、条例により手厚い配置基準にするべきだと考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>2 持続可能な農業経営・新規就農者への支援について</p> <p>(1) 持続性の高い農業への支援について (要旨) 令和5年度の新規事業として、減化学肥料、減農薬を目的に、環境に配慮した資材の購入費用の一部を支援するとしているが、具体策を聞く。また、肥料価格高騰に対する市の支援策を聞く。</p> <p>(2) 新規就農者への支援について (要旨) 継続事業である新規就農者に対する経営発展への支援について、これまでの実績はどうだったのか。また、本市で農業をしたいとの問い合わせがあると聞いているが、就農につながっているのかを聞く。</p> <p>(3) 市民農園の拡大を。 (要旨) コロナ禍で市民農園を利用する方が増えていると聞いているが、現状を聞く。</p> <p>3 小学校給食の無償化について</p> <p>(1) 小学校給食無償化は喫緊の課題である。 (要旨) 本市の小学校給食費は、1か月4,340円で、小学生が3人いる家庭では年間143,220円となり、大きな負担になっている。小学校給食の無償化に踏み切ってはどうか。</p>		

発言順位	7	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>4 支援の必要な児童・生徒の介助員について</p> <p>(1) 介助員は足りているのか。 (要旨) 介助員をもっと増やしてほしいとの声を聞くが、本市の現状を聞く。</p> <p>(2) 介助員の質の向上を。 (要旨) 一人一人に応じた対応が必要である。介助員の研修は十分行われているのか、現状を聞く。</p>		

発言順位	8	議員名	森 勝子 (森と泉の会)
発言事項	<p>1 西明石駅を中心としたまちづくり</p> <p>(1) 西明石駅再開発等のその後の進捗状況について (要旨) 西明石の発展なくして本市のさらなる発展はないと思います。 先日、西明石エリアの市民の方から、「西明石は、何も変わっていない。JR西明石駅在来線改札口は、エレベーターもなく不便なままである。」との悲痛なお声が寄せられました。六甲バター工場跡地に新たに整備予定の改札口と新幹線口を結ぶ通路についての課題も含め、その後の取組状況をお聞かせください。</p>		

発言順位	9	議員名	出雲 晶三 (未来明石大路)
発 言 事 項	<p>1 明石川周辺地域の治水について</p> <p>(1) 明石川の治水へのこれまでの取組と成果について (要旨) 本市は、温暖で災害の少ない、暮らしやすいまちであるが、平成16年の豪雨では、明石川の水位が上昇し、市内で初めて避難勧告が出された。 明石川の治水において、嘉永橋の架け替え、築堤、河口部の高潮対策、堆積土砂の撤去等、これまでの取組と成果、評価・検証を聞く。</p> <p>(2) 今後の取組と展望について (要旨) 現在施工中のJR橋梁架け替えが完了すれば、明石川の治水は一つの節目を迎えるものと考えているが、千年に一度の豪雨の浸水区域の想定を踏まえた自助・共助の備えも必要である。ハード・ソフトの両面から、今後の取組と展望について聞く。</p> <p>(3) 堆積土砂の撤去工事について (要旨) 令和4年1月から5月までに撤去工事が実施されたが、大雨が降るたびに堆積土砂が増え、土砂嵩が増えてきたことが分かる。 県・市の土砂撤去工事に対する考えを聞く。</p> <p>(4) 明石市域より上流の明石川の堆積土砂浚渫と樹木伐採について (要旨) 令和元年から令和4年度にかけて、土砂浚渫及び樹木伐採が実施されているが、まだ、河川敷の多くの部分で土砂がたまり樹木が繁茂している。兵庫県及び神戸市と連携して、上流の神戸市での土砂浚渫と樹木伐採を徹底して実施すべきであると考えているが、見解を聞く。</p> <p>2 老朽化した船上浄化センターと下水道分流化について</p> <p>(1) 船上浄化センターの延命化措置と将来展望について (要旨) 船上浄化センターは、市民の約20%、約61,000人が利用している大切な施設である。延命化は順調に進んでいるのか、進捗状況を聞く。 また、延命化を行っても、将来的には再整備の必要がある。将来の船上浄化センターの在り方をどのように考えているのか、実施計画・予算についても聞く。</p> <p>(2) 合流式から分流式への移行について (要旨) 船上浄化センターの処理エリアは、大部分が合流式のままである。国においても、新たに計画する下水道は、分流式下水道が基本としており、市は分流化を進めるべきであると考えているが、計画はあるのか。分流化に向けての市の方針、長期的な計画、予算について、どう考えているのかを聞く。</p>		

発言順位	9	議員名	出雲 晶三(未来明石大路)
発言事項	<p>(3) 分流化の遅れについて (要旨) 現在、本市の下水道の分流化はあまり進んでいないようである。泉市長が「下水道・雨水対策の予算を子育て支援施策へ回した」というようなことを述べられたと聞いている。 大きな浸水被害は、市民の生命と財産を奪う。浸水被害で市民が命をなくされたとき、独任制を標榜する市長は、責任をどう取るのかを聞く。</p> <p>3 JR西明石駅南地区のまちづくりと在来線東口について</p> <p>(1) 西明石のまちづくり第1弾について (要旨) この度の西明石駅南口とアクセス道路を整備する「西明石のまちづくり第1弾」は、西明石駅南地区のまちづくりや活性化に有効と評価できる。 しかし、南口から駅構内をまたぐ自由通路がないことは残念である。また、駅南の住宅密集地域の課題解決についての考え方をまとめないまま、都市計画変更を行うのは早計ではないか。 第1弾の概要と進捗状況、完了までの予定、整備費用の見込みを聞く。</p> <p>(2) JR西明石駅の東口の再整備と市道西明石78号線について (要旨) かつて、東口の再整備について「費用面、技術面、工期面等の課題はあるが、西明石駅舎及び自由通路の機能は、西明石のまちづくりに必要不可欠なものと考えている。」との答弁があったとおり、東口周辺の整備は重要であり、第2弾として進めるべきだと考える。 西明石のまちづくりにおける東口周辺の再整備と、南北道路である市道西明石78号線の拡幅をどのように考えているのか、見解を聞く。</p> <p>4 明石市立市民病院の建て替えについて</p> <p>(1) 市民病院の役割と重要性について (要旨) 市民病院は本市の地域包括ケアシステムの要であり、市民の生命と健康を守るとりでの病院機能を果たしている。市民病院の役割と重要性をどう考えているのかを聞く。</p>		

発言順位	9	議員名	出雲 晶三(未来明石大路)
発言事項	(2) 老朽化した明石市立市民病院の現状認識について		
	(要旨) 市民病院は平成3年3月の竣工から既に32年が経過し、耐用年数が近づいていると聞いている。施設・設備の老朽化・陳腐化が進み、不具合が生じているほか、平成13年3月に改正された第4次医療法に準拠していないとも聞く。それらの現状を認識しているのか。また、現在の経営状況と、将来の財務推計を聞く。		
	(3) 市民病院の建て替えに向けて初動すべきときについて		
	(要旨) 市民病院は老朽化と狭隘(きょうあい)化のため、感染症への対応、高齢化進展への対応、医療体制改革への対応、災害時への対応などに支障を来す状況になってきていると聞く。また、耐震化について危惧する声もある。 大病院の建て替えは大きな予算を必要とするものであり、決定から約7年はかかると聞いている。まさに今、建て替え整備に向けて初動すべきときである。市の考えを聞く。 また、建て替え検討に際し、市としてどのように関わっていくのか、重ねて聞く。		
	(4) 現在の県立がんセンター跡地を市民病院の建設用地にできないか。		
(要旨) 県立がんセンターは老朽化・狭隘化により、明石西公園への移転建て替えを決定し、整備計画を進めており、現在の病院跡地に約3万2千平方メートルの更地ができるようである。 市民病院の建て替え整備用地として、現在の県立がんセンター跡地を県から借地、もしくは現市民病院の敷地と交換して活用すれば良いと考える。見解を聞く。 また、当該地に県・市連携型の高度な医療施設として整備できないか、重ねて見解を聞く。			
5 令和5年度の当初予算案と泉市長の市政運営について			
(1) 引退を表明した市長が次年度の本格当初予算案を編成することについて			
(要旨) 泉市長は10月12日の本会議で、暴言の責任を取って「政界から引退する」と述べている。また、12月の本会議においても「選挙に出ない」「院政を敷かない」と発言されている。にもかかわらず、新規事業を含む過去最大規模の本格予算案を編成している。骨格予算案にすべきとの意見がある中で、なぜ本格予算案を編成するのかを聞く。 また、現在、国が議論をしている18歳までの児童手当拡充について、先んじて予算化すべく提案しているが、なぜ急ぐのか。誰が責任を持って予算執行するのか。予算編成の考え方を聞く。			

発言順位	9	議員名	出雲 晶三(未来明石大路)
発言事項	<p>(2) 「拡大するまちの好循環」について (要旨) 新年度予算案の基本的な考え方に、「拡大するまちの好循環」とある。人口が増えて税収が増えたと述べているが、その要因は、市内企業からの事業所税収入の増、市有地の売却益と言われている。本当に好循環なのか、数字のマジックなのか聞く。 また、次年度予算編成で40.5億円の基金を取り崩している。確かに市債発行額は減ってきているが、泉市長就任時の平成23年度と令和3年度決算を比較して、市債残高は171億円増えており、扶助費は215億円増えている。扶助費が極端に増えているアンバランスな予算編成を見ると、本当に好循環なのか疑問である。</p> <p>(3) 泉市長が市政運営を「恐怖と暴言と虚言で行っている」ことについて (要旨) 泉市長の市政運営が「恐怖と暴言と虚言」で行われていることが、最近の新聞記事で市民にも伝わっている。「人は金と地位と恐怖でしか動かない」との考えのもと、「辞めてまえ」「クビや」「飛ばしたる」「業者から金もろとんのか」と、職員を怒鳴りつけたとのこと。これはパワハラ防止法に抵触すると思われる。また、議員への「賛成したら許さん」「選挙で落としたり」との暴言は刑法の脅迫罪に抵触するとも聞いた。さらに、新聞記事では「うそつきだ」「恐怖を与える言動」「政策バーターの持ちかけ」「トップにふさわしくない行為」などが書かれていた。真相を聞く。 これらが本当ならば、明石市役所内に信頼関係はない。また、「もし政治家引退を翻すならば、市民にウソをつくことになる」と記事にも書かれている。改めて引退への思いを聞く。</p> <p>(4) 明石市の財政は健全性、継続性を担保できるのかについて (要旨) 5つの無料化の継続、保育所運営における幼保給付費等の扶助費の増加、さらに、本庁舎の建て替え、ごみ焼却施設の整備、JR西明石駅南地区の再開発、市民病院の建て替え、雨水管の敷設替え、阪神水道企業団からの新規受水、老朽化した都市基盤の再整備といった投資的経費の増加に加え、これから金利が上がると見込まれる中、財政負担がますます大きくなると予測される。財政は持続可能かつ健全でなければならない。市はこれからの財政見通しをどのように考えているのかを聞く。</p>		

発言順位	10	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発 言 事 項	<p>1 誰ひとり取り残さないまちづくりについて</p> <p>(1) 医療的ケアを必要とする児童生徒の通学保障について (要旨) 令和5年度より、明石養護学校の児童生徒の通学保障として、スクールバスの導入が予定されている。市内には、明石養護学校だけでなく、地域の学校にも医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍し、保護者から同様の通学保障を求める声が上がっている。このことについて、市の考えや今後の取組について聞く。</p> <p>(2) 合理的配慮の周知・啓発について (要旨) 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、スーパー等での買い物の会計において、対面を避ける「セルフレジ」の導入が進んでいる。しかし、障害者や高齢者にとっては利用方法が分かりづらく、後ろの人に気を遣い、焦ってしまうなどといった声が上がっている。全国的に「スローレジ」の取組などの合理的配慮が進む中、本市としてもできることはないか。今後の取組について聞く。</p>		

発言順位	11	議員名	宮坂 祐太 (フォーラム明石)
発言事項	<p>1 児童手当に係る所得制限の撤廃について</p> <p>(1) 児童手当に係る所得制限の撤廃を国に求めることについて (要旨) 泉市長は、全国市長会の社会文教委員会の委員を務めるとともに、同子ども・子育て検討会議の一員でもありますが、本市の施策方針とは相反する児童手当に係る所得制限について、通常国会における重要な論点の一つとして盛んに議論が行われている今、改めて全国市長会等を通じて、国に対して早期の撤廃を求め、給付事務を担う地方公共団体の現場の声を届けていくべきと考えます。児童手当に係る所得制限の撤廃に向けたこの間の取組も含め、市長の所感をお伺いいたします。</p> <p>(2) 特例給付の支給対象外となったこどもの状況について (要旨) 令和3年12月議会の文教厚生常任委員会において、令和4年10月支給分より特例給付の支給対象外となる方は、本市では全体の3%程度、対象受給者数で700人、対象児童数で1,200人を見込んでいる旨の答弁がありました。実数及び特例給付の支給対象外となった方から市に寄せられた相談等とその対応状況についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 特例給付の支給対象外となった子どもへの市の独自支援について (要旨) 私は、令和3年12月議会の文教厚生常任委員会において、特例給付の支給対象外となった子どもに対し、市の一般財源を充当して独自に支援することを提案しました。今回、新年度予算案において4億8,240万円の一般財源を充当し、高校生世代へ児童手当を本市で独自に支給するための経費が盛り込まれていますが、本年10月以降に予定されている高校生世代への独自支給に併せて、中学生までのこどものうち、特例給付の支給対象外となった子どもへの支援についても、国を待つことなく、まずは市独自で行っていただきたいと思えます。三重県桑名市や東京都の複数の特別区で同様の取組が示されているほか、今後の国の施策により、本市の独自対応は数年間の時限的な対応で済む可能性も高まりつつあります。次期市長の就任後、速やかに方針協議を行い、10月開始に向けて6月議会で補正予算案を編成することも視野に検討していただきたいと思えますが、市の見解をお伺いいたします。</p>		

発言順位	12	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発言事項	<p>1 安全・安心の明石のまちづくりのための防犯カメラ設置について</p> <p>(1) 本市の防犯カメラの設置状況と方針について (要旨) 犯罪抑止や安全・安心のまちづくりの観点から、防犯カメラを設置、運用する自治体が増加している。住民のプライバシーなどを守りながら実効性がある防犯カメラの設置が必要であると考えるが、本市の現状と設置、運用に対する方針について見解を問う。</p> <p>(2) 防犯カメラの増設とAIを活用した高度化カメラの導入について (要旨) 加古川市は、1,475台の見守りカメラの設置により、約4年間で犯罪件数が半分以下に減っている。さらに、来年度からは、AIを活用した高度化カメラを導入し、安全・安心のまちづくりを進めるとお聞きしている。本市も防犯カメラの増設や高度化カメラを導入してはどうか、見解を問う。</p> <p>(3) 市独自の補助金制度の創設について (要旨) 兵庫県防犯カメラ設置補助事業が来年度から変更になると聞いている。市としてどのように対応していくのか。また、今後は、市独自の補助金制度を創設してはどうか、見解を問う。</p> <p>2 明石の子どもたちに多様な学びの場を保障することについて</p> <p>(1) 本市の不登校の現状について (要旨) 令和3年度文部科学省調査において、不登校小中学生のうち、3人に1人(36.3%)が支援を受けられていないという結果が出ている。本市の不登校とその支援の現状を問う。</p> <p>(2) 本市が実施している多様な学びの場について (要旨) もくせい教室やもくせいサテライト教室、あかしフリースペース☆トロッコなど、本市が取り組んでいる多様な学びの場の現状や課題、今後の取組について、見解を問う。</p> <p>(3) フリースクールなど学校外の学びの場を利用する子どもたちへの経済的支援について (要旨) 多様な学びの場を保障するためにも、フリースクール等を利用している子どもたちに対して、東京都や鎌倉市が実施するような経済的支援をするべきではないか、見解を問う。</p>		

発言順位	12	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発 言 事 項	3 地域の子ども会活動への支援について		
	(1) 明石市連合子ども会育成連絡協議会解散に伴う地域の子ども会の今後について (要旨) 明石市連合子ども会育成連絡協議会が今年度末で解散することであるが、現在加盟している子ども会は今後どうなるのか、見解を問う。		
	(2) 地域の子ども会活動への支援について (要旨) 今後も継続して活動する子ども会に対して、市はどのような支援をしていくのか、見解を問う。		
	4 つなごう生きもののネットワーク生物多様性あかし戦略の改定について		
	(1) 生物多様性あかし戦略の改定について (要旨) 昨年12月開催のCOP15 (生物多様性条約第15回締約国会議) では、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする世界目標30by30 (サーティ・バイ・サーティ) や生物多様性の損失を食い止め回復させるネイチャーポジティブなどの新しい考え方や取組が採択された。これに伴い、新しい生物多様性国家戦略が策定されると聞いている。2011年3月の策定から12年が経過した本市の生物多様性あかし戦略も世界や国の動向に合わせた改定が必要ではないか、見解を問う。		
5 明石の自然を守るための具体的な取組について			
(1) 自然を壊すソーラーパネル設置の規制について (要旨) 近年、山の斜面やため池などへのソーラーパネル設置が問題になっている。本市も自然環境を損なう太陽光パネル設置をしないことを明確に定めるとともに、アセスメント制度の導入や人工物への設置の促進など、実効性のある取組が必要と考えるが、見解を問う。			
(2) 明石の自然の価値を市民に知ってもらう取組について (要旨) 明石の自然を守り、次世代につないでいくためには、市民にその価値を知ってもらい、大切だと思う市民を増やすことが重要である。そのためには、環境教育、自然体験活動など、市としてもっと積極的な取組が必要であると考え、見解を問う。			
(3) 明石の自然を次世代につなぐための条例制定について (要旨) 明石の自然を市民と共に次世代へつないでいくための仕組みの一つとして、条例を制定してはどうか、見解を問う。			

発言順位	13	議員名	寺井吉広(リーベの会)
発言事項	<p>1 令和5年度予算案について</p> <p>(1) 財政状況と今後の見通しについて (要旨) 令和5年度予算における財政状況と今後の見通しはどうか。留意点は。</p> <p>(2) 財源確保について (要旨) 長期的な自主財源確保の計画はどうか。</p> <p>2 脱炭素社会の実現について</p> <p>(1) 2050年カーボンニュートラル実現について (要旨) 2050年カーボンニュートラル実現に向けて、本市として、具体的にどのような施策を展開していくのか。</p> <p>(2) ブルーカーボンについて (要旨) 森林のCO2吸収量は頭打ちになることが予想される中で、大きな吸収ポテンシャルを持つブルーカーボンが今後の吸収源対策として注目されている。特に、海洋国家である日本としてはポテンシャルが大きいと考えられているため、国として2050年カーボンニュートラル実現を目指す上で無視できないものになることは間違いない。ブルーカーボンは、自治体が脱炭素化に取り組む上で重要な要素の一つになるのではないかと考えるが、どうか。</p> <p>3 本のまち明石について</p> <p>(1) 本のまち明石に向けた現状と今後の取組について (要旨) 本市は、本のまち明石にふさわしい様々な取組を進めている。現状と今後の取組について問う。</p> <p>(2) 市民ニーズの高い図書館の新設について (要旨) 全国の中核市には平均約5か所の図書館が設置されていると聞く。令和5年度予算案にある図書館未整備地区への整備について問う。</p> <p>(3) 読書バリアフリーについて (要旨) 視覚障害や発達障害のある人が読書しやすい環境を整える、いわゆる「読書バリアフリー法」が令和元年6月21日に成立した。地方自治体にも努力義務が課せられ、国と連携して計画を作り、実行していくことが求められている。本市の現状と今後の取組を問う。</p>		

発言順位	14	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>1 空き地対策について</p> <p>(1) 行政代執行も含めた空き地条例を制定しないか。 (要旨) 空き地は、最終的には個人の土地であり、管理については、所有者へのお願いのレベルを脱しきれません。そのため、条例により、場合によっては行政代執行の実施もありうる旨を周知するべきと考えます。</p> <p>(2) 個別に空き地の利活用をアドバイスできる仕組みを立ち上げないか。 (要旨) 空き地の有効利活用について、所有者、行政、民間企業等で検討していく場が必要と考えます。 所有者にとっても、放置している土地は固定資産税が賦課され、雑木・雑草を除去する費用を捻出することも厳しいと考えますが、その土地を利活用できれば、それなりの収入が見込める上、荒れ地も整地され近隣住民の安全も確保できます。 また、市としても、放置された空き地が生まれ変われば新たな税収も見込めます。</p> <p>2 インボイス相談窓口を開設しないか</p> <p>(1) インボイス相談窓口を開設しないか。 (要旨) 一番身近で垣根のない基礎自治体として、本市でも、本年10月1日のインボイス制度開始を目指して、市民である事業者の皆様に寄り添い、一緒に考えていけるよう、ケースによっては問題を解決できる専門家も紹介できるような相談窓口を開設していくべきではないか。 ※インボイスとは、売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるものです。令和5年10月1日より、売手は、買手から求めに応じ、インボイスを交付することが義務付けられます。</p> <p>3 西明石に柔剣道のできる屋内施設を整備しないか</p> <p>(1) 西明石に柔剣道のできる屋内施設を整備しないか。 (要旨) サンライフ明石の建て替え、あるいは、旧国鉄清算事業団用地の活用において、柔剣道のできる施設を整備することを検討できないか、市の見解を問います。</p>		

発言順位	14	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>4 外国籍ヤングケアラー支援について</p> <p>(1) 本市における18歳未満の外国籍の子どもたちの実態について (要旨) 外国籍の子どもたちの就学人数、登校の状況等について聞く。</p> <p>(2) 厚生労働省の支援強化の方針を受けた、本市の今後の取組について (要旨) どのような取組をいつから始めるのか。</p> <p>(3) 支援制度が確立した後の外国籍を持つ家庭への周知について (要旨) 支援制度ができてもしそれを知らなければ現状は変わらない。いかに外国籍の方にそれを周知していくのが重要となる。</p>		

発言順位	15	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発言事項	1 本市の小学校・中学校が抱える課題とその対応について		
	<p>(1) 4月からの教職員不足見込みについて (要旨) 学校現場における深刻な教職員不足が教育環境に悪循環をもたらしている。新年度を迎えるにあたり、どのような状況であるのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 小学校給食の食材費高騰に伴い保護者負担が増加しないようにどのような配慮をするのか。 (要旨) 食材費の高騰により、給食の献立や栄養等、給食の質が下がることがないように、市がある程度支援できるように考えているか。市の見解を問う。</p> <p>(3) 市立学校での休校措置について (要旨) 1月25日の積雪の際、児童生徒の安全面を一番に考えて学校裁量で行った休校措置について、市の見解を問う。</p> <p>(4) 中学校の部活動地域移行と今後のスケジュールについて (要旨) 文部科学省からの通達を受けて、確実に進める必要がある中学校部活動の地域移行について、児童生徒はもちろん、保護者からも不安の声を聞いている。どのような進捗状況なのか、市の見解を問う。</p>		
	2 大久保地区の環境整備について		
	<p>(1) J T跡地周辺道路の整備状況について (要旨) J T跡地周辺は、通学路になっており、通学時の安全性を高める必要があると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 公共公益施設用地の活用について (要旨) 市民の関心が高いJ T跡地の公共公益施設用地の利活用について、コロナ禍でも計画検討段階から市民が参画できる機会が確保されているのか、市の見解を問う。</p> <p>(3) 大久保駅南側ロータリーでの図書館建設について (要旨) 12月議会で駅前ロータリーに建設すると発言があった。市民活動センターや図書館設置について反対ではないが、設置場所に関しては、市民の意見を聞きながら慎重に進めるべきであると考え、市の見解を問う。</p> <p>(4) 大久保町の茜地区、緑が丘地区におけるたこバスの運行について (要旨) 同地区の周辺道路工事が完了したようだが、たこバスの路線変更を検討するなど、高齢者にとっても住みやすいまちを目指してほしいと考える。市の見解を問う。</p>		

発言順位	16	議員名	穂原 成人 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 本のまち明石5図書館プロジェクトの推進について</p> <p>(1) 現在の2図書館及び今後整備予定の図書館の運営費は。 (要旨) 長期的な視野に立ち、持続可能な運営ができるのか判断が必要である。</p> <p>(2) 西明石・大久保・二見でどのような図書館を計画しているのか。 (要旨) 図書館にはあらゆる刊行物を置かなくてはならないと聞くが、今回新たに整備しようとしている図書館の規模をはじめ、内容が不明のままである。</p> <p>(3) 大久保地区において駅南ロータリー部分での整備を決定した経緯は。 (要旨) 地元との協議が丁寧に行われたとも思えず、計画の立案から決定までの経緯も分からないままに基本設計予算が計上されていることから、経緯などをはっきりさせる必要がある。</p> <p>(4) 本プロジェクトに係る予算計上が不明瞭なのはなぜか。 (要旨) 新規事業として本プロジェクトを大きく掲げているにもかかわらず、大久保駅前ロータリーを活用した複合施設整備に向けた計画策定、設計費用がJT跡地等活用事業に計上されているなど、本プロジェクトに係る費用についての説明が不明瞭である。費用について、市民に分かりやすい説明が必要と考える。</p> <p>2 小中学校への太陽光発電設備の導入について</p> <p>(1) 令和5年度の計画として、小中学校各1校のみに太陽光パネルを設置することとした経緯について (要旨) 導入に当たっての経緯や太陽光発電計画に対する本市の考え方について聞く。</p> <p>(2) 太陽光発電による売電とその費用対効果について (要旨) 売電単価の引き下げにより、費用対効果が厳しいと聞くが、どのような収支見込みを立てているのか。</p> <p>(3) 耐用年数を過ぎた太陽光パネルの処分方法をはじめ、環境に配慮した調査研究はできているのか。 (要旨) 全国的に問題となっている使用済みパネルの処分をめぐる問題など、リサイクルの手法が確立されていない設備の設置についての考え方を聞く。</p>		

発言順位	17	議員名	松井久美子（公明党）
発言事項	<p>1 人生100年時代を見据えた女性の生き方、働き方について</p> <p>(1) 人生100年時代を見据えた女性の生き方に対応するライフステージに応じた政策の構築を。 (要旨) 人生100年時代を迎えて、健康、つながり、経済基盤が重要であり、これらを踏まえた女性のライフステージに応じた政策の構築と啓発が必要である。</p> <p>(2) 女性の働き方や経済的自立に向けた支援について (要旨) 育児や介護等で制約のある女性にとってニーズの高い、在宅ワークに着目して実施した明石市女性デジタル人材育成事業の成果と今後の展開について問う。</p> <p>2 本市の文化芸術の振興について</p> <p>(1) 「第2期明石文化芸術創生基本計画」が目指すものは。 (要旨) あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）に基づく文化芸術に関連する施策の個別計画に位置付けられている、「第2期明石文化芸術創生基本計画」が目指す方向性は。</p> <p>(2) 質の高い芸術に触れる機会の創出を。 (要旨) コロナ禍で本格的な質の高い芸術に触れる機会が少なかった現状があるが、今後は市民が質の高い芸術に触れる機会の創出に取り組むべきである。</p> <p>(3) 文化芸術による創造性豊かな子どもの育成について (要旨) 創造性豊かな子どもの育成のためには、一流の文化芸術に触れる機会の創出が大変重要である。</p> <p>(4) 文化関連施設の整備について (要旨) 市民会館は老朽化が進み、バリアフリー対応などの利便性に課題があり、文化博物館も長年、大きな模様替えもない。これからの本市の顔となる文化の発信拠点の検討をすべきである。</p> <p>3 17号池魚住みんな公園の活用について</p> <p>(1) 17号池魚住みんな公園の進捗状況とオープニングの予定は。 (要旨) 今年の春の完成とは聞いているが、地元地域からは、進捗状況が見えづらいとの声がある。オープニングの予定等を明確に周知すべきではないか。</p>		

発言順位	17	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p>(2) 緑のグラウンドと多目的グラウンドの利用方法について (要旨) 緑のグラウンドと多目的グラウンドの利用を待ち望む声が多くあることから、利用開始時期、申込方法等を早急に公表すべきである。</p> <p>(3) 17号池魚住みんな公園への入退場時の安全対策について (要旨) 国道2号から公園への入退場時の安全対策が必要であることから、対応策を問う。</p>		

発言順位	18	議員名	井藤圭順（自民党 真誠会）
発言事項	<p>1 豊かな海づくり大会後の取組について</p> <p>(1) 豊かな海づくり大会後の取組について (要旨) 昨年11月、全国豊かな海づくり大会兵庫大会が本市をメイン会場として開催された。ご臨席を賜った天皇陛下が「豊かな海の環境を保全し、次世代に引き継ぐことは私たちの使命。この大会を機に、海や魚への理解と関心が広まることを願う」と御言葉を述べられたことから、開催市として、大会が終わったことで安心することなく、さらに充実した対策を行い、引き続き豊かな海を取り戻すための取組を進めなければならないと考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 明石産水産物の新たな活用方法について (要旨) 現在、イカナゴやタコの漁獲量が減少する中、豊富に獲れる魚種について、各漁連など関係団体との連携を強化し、加工・保存することにより、学校給食での使用など、地産地消の推進が期待される。加えて、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催に向けた準備も必要と考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>(3) 明石産水産物の海外販路の開拓について (要旨) 2015年度から取り組んでいる海外販路の開拓について、2030年をめどに神戸空港にて国際線が定期便化される予定であることから、これを好機と捉え、さらなる海外販路の開拓が必要と考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>2 明石市の文化財について</p> <p>(1) 明石市文化財保存活用地域計画の進捗状況について (要旨) 「歴史文化遺産を通じた、ひと、まち、営みが輝く持続可能な地域づくり」を目標に、明石市文化財保存活用地域計画が2022年3月に策定されたが、現在の進捗状況について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 魚住文化財収蔵庫の活用状況と今後について (要旨) 2022年7月に魚住文化財収蔵庫展示室がオープンしたが、現在の活用状況と今後について、市の見解を聞く。</p> <p>(3) 文化財を活用した地域の活性化について (要旨) 本市は、重要文化財（建造物）である明石城「巽櫓（たつみやぐら）」「坤櫓（ひつじさるやぐら）」、並びに国指定史跡の明石城跡をはじめ、多くの歴史的文化遺産を有しており、それらを有効活用した地域の活性化が必要と考えるが、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	18	議員名	井藤圭順(自民党 真誠会)
発言事項	<p>3 学校部活動の地域移行について</p> <p>(1) 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について (要旨) 中学校の休日の部活動について、令和5年度から令和7年度までの3年間で改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組むこと、地域の実情に応じ、可能な限り早期実現を目指すことがスポーツ庁より示されている。今後どのように地域移行を進めていくのか、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	19	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発 言 事 項	<p>1 あんしん安全な学校生活について</p> <p>(1) ランドセルとリュックの選択制について (要旨) ランドセルが重く、特に持ち物が多い日や夏の暑い日などは通学に困難を要する児童もいる。身体的、精神的に影響を及ぼす場合もあることから、リュックなどの選択ができないか、お聞きする。</p> <p>(2) 老朽化したプールの今後の取組について (要旨) 老朽化したプールについて、安全性に関して心配の声が寄せられている。市の今後の取組について、お聞きする。</p> <p>2 認知症にやさしいまち明石のさらなる取組について</p> <p>(1) 地域で認知症の人や家族を支える「あかしオレンジサポーター制度」の進捗状況と今後の取組について (要旨) まちのみんなで認知症の人と家族を支える「あかしオレンジサポーター制度」の進捗状況と今後の取組について、お聞きする。</p> <p>(2) 家族を支えるための認知症高齢者等個人賠償補償事業について (要旨) 認知症の方に偶然の事故による賠償責任が生じた場合に、その家族を支える補償事業に取り組まないか、お聞きする。</p>		

発言順位	20	議員名	千住 啓介 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	<p>1 議案第12号 令和4年度明石市一般会計補正予算（第9号）について</p> <p>(1) 歳出の福祉施設整備・人材育成事業の約11.6億円の減額補正について (要旨) 第8期介護保険事業計画に示されている特別養護老人ホーム等の施設整備が進んでいないための減額であるが、今後どのように進める計画なのか、見解を問う。</p> <p>(2) 繰越明許費 都市開発一般事務事業1,800万円について (要旨) 大久保北部遊休地利活用可能性調査業務委託、スマートインターチェンジ設置基礎調査業務委託が年度内に完了しない見込みのため翌年度への繰り越しを行ったものであるが、なぜ年度内で完了できなかったのか。また、今後はどのように進めるのか、見解を問う。</p> <p>2 インクルーシブなまちづくりについて</p> <p>(1) 特別支援学校について (要旨) 東播磨地域の特別支援学校児童生徒数の急増に伴い、2026年度に加古川市に特別支援学校が新設されることになった。明石市になぜできなかったのか、見解を問う。</p> <p>(2) グループホーム及び入所施設の適正配置について (要旨) 本市のグループホーム及び入所施設、短期入所施設の数とは適正なのか、利用者のニーズに適切に応えられているのか、見解を問う。</p> <p>(3) 明石市全域における移動手段の確保について (要旨) 言うまでもなく、中心市街地だけが明石市ではない。目立つところだけをバリアフリーにしてもインクルーシブ社会とは言えない。バリアフリー化が完了していない区域を今後どのように整備していくのか、見解を問う。</p>		

発言順位	21	議員名	飯田 伸子(公明党)
発言事項	<p>1 デジタル機器を活用した窓口サービスの向上について</p> <p>(1) デジタル機器を活用した窓口サービス向上に対する本市の取組について (要旨) 全国で行政窓口のデジタル化が進んでいるが、本市における現在の取組状況を問う。</p> <p>(2) 市役所新庁舎の窓口機能について (要旨) 令和9年度の供用開始を予定し、市役所新庁舎の整備計画が進んでいるが、行政窓口におけるデジタル化の検討状況を問う。</p> <p>(3) 「書かない窓口」の導入について (要旨) 行政のデジタル化の重要性が増している。特に、窓口サービスにおいては「書かない窓口」の導入の効果が高いと考えるが、本市の認識を問う。</p> <p>2 賃貸住宅への入居が困難な世帯に対する支援制度の構築について</p> <p>(1) 賃貸住宅への入居が困難な世帯が増加していることに対する本市の認識について (要旨) 高齢者や障害者の単身世帯等、賃貸住宅への入居が困難な世帯が増加し、社会問題となっているが、本市の認識を問う。</p> <p>(2) 賃貸住宅への入居が困難な世帯に対する支援制度の構築について (要旨) 全国では、賃貸住宅への入居が困難な世帯に対する支援に取り組んでいる自治体もある。本市でも支援制度の構築が必要だと考えるが、認識を問う。</p>		

発言順位	22	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>1 財政について</p> <p>(1) 今後の財政見通しについて (要旨) 未来に向けて持続的な発展が可能か、認識を問う。</p> <p>2 5図書館プロジェクトについて</p> <p>(1) 西明石地区における図書館整備について (要旨) 整備費と規模について問う。</p> <p>(2) 大久保地区における図書館整備について (要旨) 整備費と整備方法、規模について問う。</p> <p>(3) 二見地区における図書館整備について (要旨) 今後の進め方について問う。</p> <p>3 議案第10号 明石市工場立地法地域準則条例の一部を改正する条例制定のことにについて</p> <p>(1) 条件を付けることについて (要旨) 工場立地法準則においては、条件を付けて設定することは認め ていないという意見があるが、市はどのように考えているか。見 解を問う。</p> <p>(2) 他都市の条例との比較について (要旨) 既に施行されている他都市の条例と比較して、本件条例改正案 は厳しいものとなっているか。認識を問う。</p> <p>(3) ネット・ポジティブ・インパクトの周知について (要旨) 市民にとっていまだ耳慣れない言葉である。さらに周知する必 要があると考え。認識を問う。</p> <p>4 事業所税について</p> <p>(1) 法の趣旨と位置づけについて (要旨) そもそも事業所税とはどういうものと考えているか。認識を問 う。</p> <p>(2) 用途について (要旨) 認識を問う。</p> <p>5 高齢者施策について</p> <p>(1) 相談支援体制の拡充について (要旨) 高齢化が進む地域において地域総合支援センターによる相談支 援体制を拡充するべきと考える。認識を問う。</p>		

発言順位	23	議員名	北川 貴 則 (森と泉の会)
発 言 事 項	<p>1 コロナに負けない生活支援と福祉の充実について</p> <p>(1) その後の生活困窮者への支援の現状について (要旨) コロナ禍において、この間、失業などで収入が減り、生活が苦しくなった方への対応は適切に行われていたのでしょうか。困っている市民の方を取り残さない取組をお聞かせください。</p> <p>(2) 生活支援にも即していた第2弾の全市民への3,000円サポート利用券配付事業について (要旨) 第2弾の全市民への3,000円サポート利用券配付事業も好評を得ていたとお聞きしております。成果をお聞かせください。</p> <p>(3) 今後の支援策について (要旨) コロナ禍による生活困窮が理由で命を絶つことがないように、今一步、施策のさらなる展開と、セーフティネットとしての福祉の充実を望みます。従来の生活相談・支援業務に加え、全市民に対する第3弾のサポート利用券配付事業の次年度での実施や、本市独自のさらなる支援策の充実など、今後の展開をお聞かせください。</p> <p>2 泉市長に辞めてほしくない民意について</p> <p>(1) 泉市長の今後について (要旨) 「せっかく明石が良くなったのに」「明石を今以上にさらに良くしてもらいたい」など、多くの市民の方から泉市長を辞めさせないで欲しい旨の声を頂いています。民意を踏まえ、あるべき姿と現状をどのようにお考えでしょうか。見解をお聞かせください。</p>		